

十日町市の概要

十日町市役所 様

導入機種 → PJP-EC200/1台、PJP-50USB/5台、PJP-25UR/1台
 導入時期 → 2012年3月(PJP-50USB/25UR)、2012年8月(PJP-EC200)
 基本構成 → エイネット株式会社様のWeb会議システム「FRESH VOICE(フレッシュボイス)」と連携し、本庁舎と4支所を結ぶ会議システムを構築するとともに、災害時の緊急対策用会議ツールとしても活用。

新潟県十日町市は、日本棚田100選に選ばれるなど、里山の原風景を残す風光明媚な地域です。平均積雪は2メートル超で、「現代雪まつり発祥の地」として多くの観光客を集めています。3年ごとに開催されている「大地の芸術祭～越後妻有アートトリエンナーレ」は海外でも有名。織物や農業などの基幹産業のほか、山間地には珍しくソフトウェア企業が集積する街でもあります。

フレッシュボイス

Web会議システム「FRESH VOICE」と「PJPシリーズ」の連携で、本庁舎-支所間の会議効率化や、災害時の緊急連絡網を実現!

PJP導入の背景

豪雪地帯に必要不可欠な遠隔会議システムの更改を検討。

- 災害と豪雪地帯という地域特性
- 遠隔会議システムは必要不可欠
- 旧テレビ会議には課題が山積

2004年10月に新潟県をおそった中越地震では、十日町市も震度6強を記録しました。同市は国の激甚災害地区に指定され、これを機に、2005年に本庁舎と支所など行政施設約100ヵ所を光ファイバーで結び、災害にも強い地域イントラネット網を整備。同時にテレビ会議システムを導入しました。同市は広大な面積に行政機関が散在しており、有数の豪雪地帯でもあるため、本庁舎で開催される会議に出席するためには多くの移動時間が費やされていました。移動にかかる時間とコストを削減するためにも、遠隔会議システムは必要不可欠なツールだったのです。しかし導入した外国製の専用機によるテレビ会議システムは、運用・保守費用が高額であり、故障した際の部品調達も円滑にできず、さらに設定や操作が複雑であることなど、多くの問題を抱えていました。それゆえ早急なシステム更改が必要となっていました。

PJPを選択した理由

Web会議システムの拡張性とPJPの優れた性能を高く評価。

- 拠点を簡単に増やせるFRESH VOICE
- Web会議ベンダーが推奨したPJP
- 音響品質、操作性の良さを評価

新しい遠隔会議システムに同市が求めた要件は、①導入・保守費用が安価であること、②導入拠点を容易に増やせる拡張性があること、③設定や操作が簡単であること、の3点でした。この視点から同市が選定したのが、エイネット株式会社のWeb会議システム「FRESH VOICE(フレッシュボイス)」でした。同製品はハードウェアタイプの従来のテレビ会議システムと異なり、ソフトウェアをインストールすることで簡単・安価に導入拠点を増やすことができます。また画質も良く、会議資料や災害時の地図情報の共有も可能なことなども決め手となりました。同時にWeb会議用のマイクスピーカーとして、ヤマハのPJPシリーズが採用されました。PJPシリーズはエイネット株式会社の推奨品であり、音質の良さ、操作の簡単さ、価格の手頃さ、用途に応じた豊富なラインナップが高く評価されました。

PJP導入の成果

会議の時間とコストを大幅削減し、行政コミュニケーションを革新。

- 3種類のPJPを用途別に使い分け
- 通常会議の大幅な効率化を実現
- 今後はさらに高度な用途も検討

同市では会議の用途に応じて、3種類のPJPを使い分けています。本庁舎の大会議室と4支所を結んだ毎月2回の課長会議などでは、高性能エコーキャンセラー装置「PJP-EC200」を活用し、快適な双方向会話を実現しています。また職員研修会など、講師が本庁舎内の小会議室にパソコンを持ち込んで行う遠隔会議ではPJP-25URを機動的に使用。さらに4支所にはPJP-50USBが設置され、5～6人程度の出席者が日常的に活用しています。Web会議システムとPJPシリーズの導入により、会議にかかる時間とコストが大幅に削減され、同市の行政コミュニケーションは大きく進化しました。同市では今後、Web会議システムとPJPシリーズの優れた特長を活かして、災害時などにスマートフォンやタブレットPCからの会議参加を検討したり、小中学校や保育園など幅広い行政施設での活用の可能性を追求していく予定です。

ご購入いただいた主な機種



PJP-EC200 希望小売価格:315,000円(本体価格:300,000円)
 JANコード:49 60693 23452 5

さまざまな環境に適応可能な高性能エコーキャンセラー



PJP-50USB 希望小売価格:120,750円(本体価格:115,000円)
 JANコード:49 60693 23415 0

操作性抜群、高音質の双方向会話ができる会議用マイクスピーカー

「テレビ会議」の課題を解決した「Web会議」と「PJPシリーズ」を連携させ、通常の会議の効率化と災害時の緊急連絡システム構築を、同時に実現しました。

お客様の声

コスト、拡張性、操作性など「FRESH VOICE」と「PJP」を高く評価、十日町市の行政コミュニケーションに不可欠な会議システムです。

Web会議システム「FRESH VOICE」と、ヤマハの「PJPシリーズ」を高く評価しています。コスト、拡張性、操作性など、私たちが求めた要件をすべて満たし、さまざまな会議の効率化に貢献してくれました。今後はこうした利点を活かして、スマホやタブレットPCから無線ネットワークで会議に参加することも検討しています。災害時に現場の様子を映像と音声で伝えられることは、大きなメリットであり、災害対策ツールとしても有効だと思います。(佐野様)

本庁舎の大会議室と5支所を結んだ課長会議では、当初本庁側でもPJP-50USBを使っていた。大会議室の出席者が約40名となるため、ハンドマイクを使うのですが、その際支所側で音声が届きにくいという問題が発生していました。そこで大会議室にエコーキャンセラー(PJP-EC200)を導入したところ、支所側の音声が劇的に改善されました。今では会議システムというツールを意識しない円滑な会議が実現しており、たいへん助かっています。(渡辺様)



十日町市
総務部総務課 情報システム係
副参事
佐野 誠市 様

十日町市
総務部総務課 情報システム係
主任
渡辺 隆之 様

十日町市のWeb会議システムの概要

会議の用途・参加人数に応じて、3種類のPJPシリーズを活用。大人数の課長会議から、少人数の研修まで、幅広く活躍しています。

●Web会議システム「FRESH VOICE」を活用 / 「FRESH VOICE」は安定した利用が可能な「サーバ導入型」。音声と映像の品質に優れており、ユーザーのネットワーク内に専用サーバを設置するためセキュリティ面も安心なシステムです。

●多彩な用途に活用されるPJPシリーズ

- PJP-EC200 / 毎月2回開催される課長会議(本庁舎大会議室に約40名、4支所に各5~6名が出席)などで使用。大会議室に設置されています。
- PJP-50USB / 4支所の会議室に設置されており、課長会議や研修会などで活用されています。
- PJP-25UR / 本庁舎の小会議室で、各種研修会などに活用されています。移動可能なため、機動的な使用が可能です。



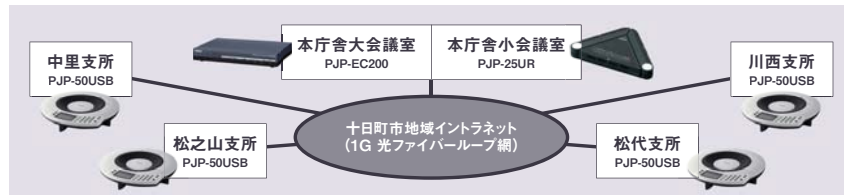
本庁舎大会議室で行われた研修会の様子



課長会議などをコントロールするFRESH VOICEの画面



本庁舎大会議室の操作機器ボックスに設置されたPJP-EC200



販売パートナー様の声

PJPシリーズは当社の推奨品。あらゆる面で自信をもってお奨めしています。

ヤマハのPJPシリーズを、自信をもってお奨めています。音質などの性能やコスト面はもちろんのこと、お客様の要望に応える対応力や、行き届いたサポート力を高く評価するからです。Web会議システムは、お客様の実環境でデモ機を使って試していただくことが不可欠ですが、ヤマハさんは快く対応してくれますし、万が一の障害時の対応も必ず抜けています。これからも当社の「FRESH VOICE」との組み合わせを、広くご紹介しようと思います。 エイネット株式会社 首都圏営業部長 尾上 渉 様



PJP-EC200の概要

- 寸法 / 270(幅)×180(奥行)×43(高さ)mm ●重量 / 753g(電源アダプタ含まず) ●電源 / AC100V 50/60Hz ●音声インターフェース / Conference IN/OUT ステレオミニジャック×各1系統、Main Output ステレオRCA×1、Mic Input XLR/フォン×2、Ethernet (10BASE-T/100BASE-TX)
- その他特記事項 / 適応型エコーキャンセラー、フィードバックサプレッサー、ノイズリダクション、オートゲインコントロール、周波数帯域:100~20,000Hz



PJP-50USBの概要

- 寸法 / 283(幅)×298(奥行)×52(高さ)mm ●重量 / 約1.4kg(電源アダプタ含まず) ●電源 / AC100~240V 50/60Hz
- 外部インターフェース / USB2.0 Full Speed、アナログオーディオ入出力各1(ステレオミニジャック)、ACアダプター接続用コネクタ(DC-12V IN) ●オーディオ / マイク8個(アレイマイク)、スピーカー4個(モノラル再生)、音量:最大85dB(0.5m)、周波数帯域:300~20,000Hz、信号処理:適応型エコーキャンセラー/ノイズリダクション/マイクアレイ制御



本書に記載されている企業名、製品名は、一般に各社の登録商標または商標です。

安全に関するご注意 ●本製品の設置、ご使用に関しましては取扱説明書などに記載されている注意事項や禁止事項をよくお読みの上、必ずお守りください。



感動を・ともに・創る

プロジェクトフォンお客様ご相談センター

■お電話によるお問い合わせ先 ☎03-5651-1838 ■FAXによるお問い合わせ先 ☎053-460-3489

ご相談受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます。)

◎会議システム プロジェクトフォンの最新情報はこちら <http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>



このハバレットは無塩漂白(ECP)ハルバを使用しています。

このハバレットは再生紙と大豆インクを使用しています。